

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		鹿児島県		市町村類型	Ⅱ－3		指定団体等の指定状況		区分		令和5年度(千円)		令和4年度(千円)		区分		令和5年度(千円・%)		令和4年度(千円・%)					
							財政健全化等	×	歳入総額	40,116,291	36,202,968	実質収支比率	6.7	5.1										
市町村名		始良市		地方交付税種地	1-3		財源超過	×	歳入歳出差引	38,698,884	35,097,130	経常収支比率	90.5	90.8										
							首都	×	翌年度に繰越すべき財源	1,417,407	1,105,838	(※1)	(91.2)	(92.2)										
							近畿	×	実質収支	177,337	189,148	標準財政規模	18,396,650	17,991,400										
								×	単年度収支	1,240,070	916,690	財政力指数	0.50	0.51										
人口		令和2年国調(人)	76,348	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	323,380	-489,740	公債費負担比率	14.0	15.9										
		平成27年国調(人)	75,173				過疎	○	積立金	533	277	健全化判断比率												
		増減率 (%)	1.6				山振	×	繰上償還金	0	0 <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	実質赤字比率	-	-										
住民基本台帳人口 (※7)		令06.01.01(人)	78,218 <th rowspan="2">区分</th> <th>令和2年国調</th> <th>平成27年国調</th> <th>低開発</th> <th>○</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>318,000</td> <td>130,000</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	○	積立金取崩し額	318,000	130,000	連結実質赤字比率	-	-										
		うち日本人(人)	77,643 <th></th> <td>848</td> <td>1,034<th>指数表選定</th><th>○</th><th>実質単年度収支</th><td>5,913</td><td>-619,463</td><th>実質公債費比率</th><td>9.4</td><td>10.4</td></td>			848	1,034 <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>5,913</td> <td>-619,463</td> <th>実質公債費比率</th> <td>9.4</td> <td>10.4</td>	指数表選定	○	実質単年度収支	5,913	-619,463	実質公債費比率	9.4	10.4									
		令05.01.01(人)	78,077 <th rowspan="2">第1次</th> <th>2.5</th> <th>3.2</th> <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>45.7</td> <td>47.0</td>	第1次	2.5	3.2						将来負担比率	45.7	47.0										
		うち日本人(人)	77,576 <th>6,629</th> <td>6,454<th></th><th></th><th>基準財政収入額</th><td>8,330,312</td><td>7,984,069</td><th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th><td></td><td></td></td>		6,629	6,454 <th></th> <th></th> <th>基準財政収入額</th> <td>8,330,312</td> <td>7,984,069</td> <th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th> <td></td> <td></td>			基準財政収入額	8,330,312	7,984,069	資金不足比率 (※4)												
		増減率 (%)	0.2 <th rowspan="2">第2次</th> <th>19.7</th> <td>19.8<th></th><th></th><th>基準財政需要額</th><td>16,204,458</td><td>15,682,880</td></td>	第2次	19.7	19.8 <th></th> <th></th> <th>基準財政需要額</th> <td>16,204,458</td> <td>15,682,880</td>			基準財政需要額	16,204,458	15,682,880													
		うち日本人(%)	0.1 <th rowspan="2">第3次</th> <th>26,181</th> <td>25,140<th></th><th></th><th>標準税収入額等</th><td>10,395,551</td><td>9,970,186</td></td>		第3次	26,181	25,140 <th></th> <th></th> <th>標準税収入額等</th> <td>10,395,551</td> <td>9,970,186</td>			標準税収入額等	10,395,551		9,970,186											
面積 (km ²)	231.25 <th>77.8</th>	77.8	77.1 <th></th> <th></th> <th>経常経費充当一般財源等</th> <td>16,796,043</td> <td>16,644,903</td>				経常経費充当一般財源等	16,796,043	16,644,903															
人口密度 (人/km ²)	330 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>歳入一般財源等</th> <td>22,363,336</td> <td>21,171,902</td>					歳入一般財源等	22,363,336	21,171,902																
世帯数 (世帯)	32,850 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>																							
職員の状況 (※8)																								
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	32,146,642	30,455,664													
	市区町村長	1	8,680 <th>一般職員</th> <td>509</td> <td>1,582,990</td> <td>3,110<th>うち公的資金</th><td>27,896,400</td><td>25,895,054</td></td>		一般職員	509	1,582,990	3,110 <th>うち公的資金</th> <td>27,896,400</td> <td>25,895,054</td>	うち公的資金	27,896,400	25,895,054													
	副市区町村長	2	6,860 <th>うち消防職員</th> <td>97</td> <td>283,822</td> <td>2,926<th>地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th><td>21,826,838</td><td>19,168,015</td></td>		うち消防職員	97	283,822	2,926 <th>地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th> <td>21,826,838</td> <td>19,168,015</td>	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	21,826,838	19,168,015													
	教育長	1	6,470 <th>うち技能労務職員</th> <td>3</td> <td>11,058</td> <td>3,686<th>債務負担行為額(支出予定額)</th><td>2,225,363</td><td>4,144,048</td></td>		うち技能労務職員	3	11,058	3,686 <th>債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>2,225,363</td> <td>4,144,048</td>	債務負担行為額(支出予定額)	2,225,363	4,144,048													
	議会議長	1	4,090 <th>教育公務員</th> <td>22</td> <td>78,220</td> <td>3,555<th>収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td></td>		教育公務員	22	78,220	3,555 <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>	収益事業収入	-	-													
	議会副議長	1	3,260 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>土地開発基金現在高</th> <td>500,126</td> <td>500,106</td>		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	500,126	500,106													
	議会議員	22	3,030 <th>合計</th> <td>531</td> <td>1,661,210</td> <td>3,128</td> <th>積立金現在高</th> <td>2,705,250</td> <td>2,522,717</td>		合計	531	1,661,210	3,128	積立金現在高	2,705,250	2,522,717													
					ラスバイレス指数	98.8			減債基金	403,600	395,331													
									その他特定目的基金	2,022,630	2,368,258													
一般会計等の一覧				事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧				地方公社・第三セクター等一覧				
項番	会計名			項番	会計名			項番	会計名			項番	会計名			項番	組合等名			項番	団体名			(※3)
(1)	一般会計			(3)	始良市国民健康保険特別会計事業勘定			(8)	始良市水道事業会計							(10)	鹿児島県市町村総合事務組合			(14)	始良市土地開発公社			
(2)	始良市農林業労働者災害共済事業特別会計			(4)	始良市国民健康保険特別会計施設勘定			(9)	始良市下水道事業会計							(11)	始良・伊佐地区介護保険組合			(15)	始良市文化振興公社			
				(5)	始良市後期高齢者医療特別会計											(12)	鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)							
				(6)	始良市介護保険特別会計保険事業勘定											(13)	鹿児島県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)							
				(7)	始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定																			

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債 (特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計 (10会計まで) を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク (*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン (-) としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	8,213,473	20.5	8,007,497	43.5	普通税	8,004,653	97.5	-
地方譲与税	304,430	0.8	304,430	1.7	法定普通税	8,004,653	97.5	-
利子割交付金	2,344	0.0	2,344	0.0	市町村民税	3,417,456	41.6	-
配当割交付金	27,385	0.1	27,385	0.1	個人均等割	123,107	1.5	-
株式等譲渡所得割交付金	33,435	0.1	33,435	0.2	所得割	2,963,726	36.1	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	178,228	2.2	-
地方消費税交付金	1,816,768	4.5	1,816,768	9.9	法人税割	152,395	1.9	-
ゴルフ場利用税交付金	38,322	0.1	38,322	0.2	固定資産税	3,789,125	46.1	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	3,743,461	45.6	-
自動車取得税交付金	1,595	0.0	1,595	0.0	軽自動車税	299,140	3.6	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	498,932	6.1	-
自動車税環境性能割交付金	17,817	0.0	17,817	0.1	釐産税	-	-	-
法人事業税交付金	100,232	0.2	100,232	0.5	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	124,475	0.3	124,475	0.7	法定外普通税	-	-	-
地方特例交付金	122,744	0.3	122,744	0.7	目的税	208,820	2.5	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	1,731	0.0	1,731	0.0	法定目的税	208,820	2.5	-
地方交付税	8,383,792	20.9	7,874,146	42.7	入湯税	2,844	0.0	-
普通交付税	7,874,146	19.6	7,874,146	42.7	事業所税	-	-	-
特別交付税	509,646	1.3	-	-	都市計画税	205,976	2.5	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-
（一般財源計）	19,064,068	47.5	18,348,446	99.6	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	9,711	0.0	9,711	0.1	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	122,311	0.3	1,253	0.0	合計	8,213,473	100.0	-
使用料	365,965	0.9	30,276	0.2				
手数料	226,707	0.6	105	0.0				
国庫支出金	9,532,854	23.8	-	-				
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-				
都道府県支出金	3,360,818	8.4	-	-				
財産収入	75,763	0.2	19,018	0.1				
寄附金	533,028	1.3	-	-				
繰入金	1,110,522	2.8	-	-				
繰越金	605,838	1.5	-	-				
諸収入	232,406	0.6	14,894	0.1				
地方債	4,876,300	12.2	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	126,900	0.3	-	-				
歳入合計	40,116,291	100.0	18,423,703	100.0				

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	209,669	0.5	-	209,669	
総務費	6,955,267	18.0	3,442,973	2,608,637	
民生費	17,526,961	45.3	543,976	7,900,338	
衛生費	3,077,740	8.0	174,558	2,176,704	
労働費	28,892	0.1	-	28,892	
農林水産業費	854,873	2.2	239,160	491,426	
商工費	336,103	0.9	209	328,113	
土木費	2,134,249	5.5	1,812,790	696,149	
消防費	1,030,670	2.7	85,037	961,856	
教育費	2,590,594	6.7	204,730	2,218,263	
災害復旧費	666,351	1.7	-	186,166	
公債費	3,287,515	8.5	-	3,139,716	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	38,698,884	100.0	6,503,433	20,945,929	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	20,440,155	52.8	11,711,383	10,238,784	55.2
人件費	4,518,497	11.7	4,222,790	4,107,649	22.1
うち職員給	2,764,837	7.1	2,585,529	-	-
扶助費	12,634,143	32.6	4,348,877	2,991,419	16.1
公債費	3,287,515	8.5	3,139,716	3,139,716	16.9
元利償還金	3,286,537	8.5	3,138,738	3,138,738	16.9
うち元金	3,185,322	8.2	3,048,110	3,048,110	16.4
うち利子	101,215	0.3	90,628	90,628	0.5
一時借入金利子	978	0.0	978	978	0.0
その他の経費	11,088,945	28.7	8,167,806	6,557,259	35.3
物件費	4,981,346	12.9	3,573,012	3,256,352	17.6
維持補修費	205,944	0.5	167,072	162,683	0.9
補助費等	2,046,862	5.3	1,562,786	592,899	3.2
うち一部事務組合負担金	19,618	0.1	19,618	7,125	0.0
繰出金	3,455,034	8.9	2,705,478	2,545,325	13.7
積立金	399,759	1.0	159,458	-	-
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	7,169,784	18.5	1,066,740	510,504	
うち人件費	519,994	1.3	510,504		
普通建設事業費	6,503,433	16.8	880,574		
うち補助	1,976,236	5.1	103,179		
うち単独	4,450,252	11.5	771,547		
災害復旧事業費	666,351	1.7	186,166		
失業対策事業費	-	-	-		
歳出合計	38,698,884	100.0	20,945,929		

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1	一般会計	40,121	38,703	1,418	1,240	1,111	32,147	
2	始良市農林業労働者災害共済事業特別会計	2	2	0	0	0	0	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	40,123	38,705	1,418	1,240		32,147	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1	始良市国民健康保険特別会計事業勘定	9,401	9,343	58	58	745	0	0	-	
2	始良市国民健康保険特別会計施設勘定	41	36	5	5	15	7	1	-	
3	始良市後期高齢者医療特別会計	1,317	1,315	2	2	364	0	0	-	
4	始良市介護保険特別会計保険事業勘定	7,670	7,488	182	182	1,137	0	0	-	
5	始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定	57	48	9	9	24	0	0	-	
6	始良市水道事業会計	1,410	1,187	223	1,682	26	4,132	66	-	法適用企業
7	始良市下水道事業会計	221	235	▲ 14	303	26	446	415	-	法適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				2,240					-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	鹿児島県市町村総合事務組合	8,593	7,983	610	610	296	0	0	
2	始良・伊佐地区介護保険組合	117	103	14	14	30	0	0	
3	鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	110	93	17	17	5	0	0	
4	鹿児島県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	293,727	290,111	3,616	3,616	27	0	0	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等								

公債費負担の状況

		実質公債費比率 (千円・%)			
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
元利償還金		3,677,951	3,532,795	3,286,537	19.6
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-
元利償還金					
公営企業債の元利償還金に対する繰入金		51,937	54,599	56,046	0.3
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)		61,173	59,193	59,193	0.4
一時借入金の利子		710	44	824	0.0
合計	(A)	3,791,771	3,646,631	3,402,600	
内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
PF事業に係るもの		-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-
その他上記に準ずるもの		61,173	59,193	59,193	0.4
利子補給に係るもの		-	-	-	-
特定財源の額	(B)	352,233	302,465	324,093	
標準財政規模	(C)	18,449,363	17,991,400	18,396,650	
算入公債費等の額	(D)	1,744,390	1,745,263	1,662,041	
	(C)-(D)	16,704,973	16,246,137	16,734,609	
実質公債費比率	(単年度)	10.1	9.8	8.5	
((A)-((B)+(D))) / ((C)-(D)) × 100	(3カ年平均)	11.2	10.4	9.4	

将来負担の状況

		将来負担比率 (千円・%)			
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
将来負担額					
一般会計等に係る地方債の現在高		31,271,296	30,455,664	32,146,642	192.1
債務負担行為に基づく支出予定額		580,305	521,112	461,919	2.8
公営企業債等繰入見込額		574,368	511,462	482,916	2.9
組合等負担等見込額		-	-	-	-
退職手当負担見込額		3,988,984	3,961,574	3,787,830	22.6
設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-
うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-
連結実質赤字額		-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-
合計	(E)	36,414,953	35,449,812	36,879,307	
充当可能財源等					
充当可能基金		5,881,396	6,760,464	6,624,933	39.6
充当可能特定歳入		1,993,320	2,018,124	1,906,128	11.4
基準財政需要額算入見込額		19,447,677	19,021,412	20,690,630	123.6
合計	(F)	27,322,393	27,800,000	29,221,691	
将来負担比率((E)-(F)) / ((C)-(D)) × 100		54.4	47.0	45.7	
健全化判断比率	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		
実質赤字比率	-	12.57	20.00		
連結実質赤字比率	-	17.57	30.00		
実質公債費比率	9.4	25.0	35.0		
将来負担比率	45.7	350.0			

企業債等繰入見込額	始良市下水道事業会計	462,815	421,024	415,406	2.5
	始良市水道事業会計	109,276	88,861	66,107	0.4
	始良市国民健康保険特別会計施設勘定	2,277	1,577	1,403	0.0
	始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定	-	-	-	-
その他の会計		-	-	-	-
地方道路公社に係る将来負担額		-	-	-	-
土地開発公社に係る将来負担額		-	-	-	-
地方独立行政法人に係る将来負担額		-	-	-	-
その他第三セクター等に係る将来負担額		-	-	-	-

令和5年度

鹿児島県始良市

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	始良市土地開発公社	13	2,588	5	0	77	0	0	0	
2	始良市文化振興公社	4	53	30	0	0	0	0	0	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	78,218人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	77,643人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
面積	231.25km ²	実質公債費比率	9.4%
歳入総額	40,116,291千円	将来負担比率	45.7%
歳出総額	38,698,884千円		
実質収支	1,240,070千円	市町村類型	R01Ⅱ-3 R02Ⅱ-3 R03Ⅱ-3
標準財政規模	18,396,650千円	(年度毎)	R04Ⅱ-3 R05Ⅱ-3
地方債現在高	32,146,642千円		

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

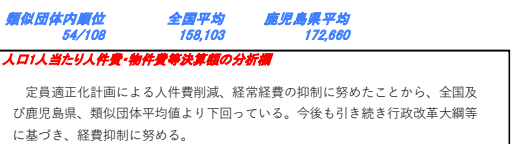
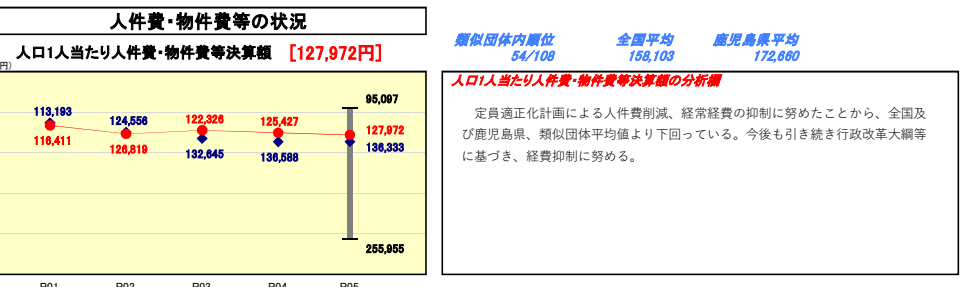
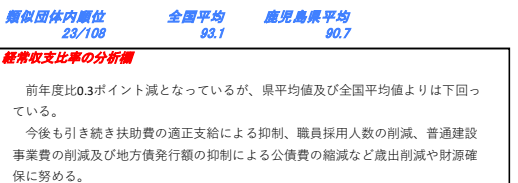
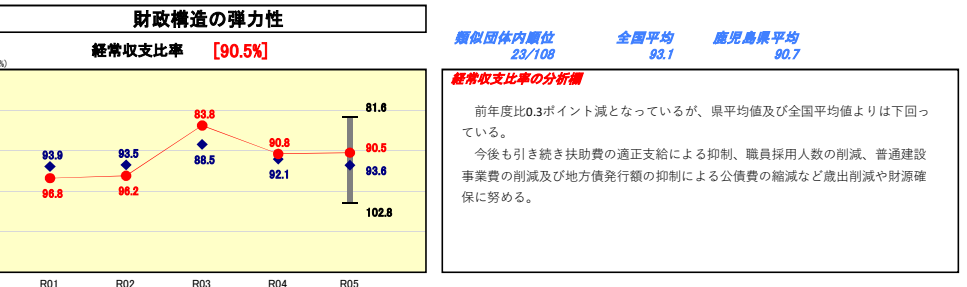
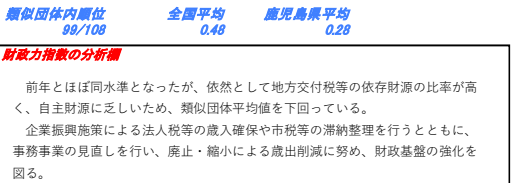
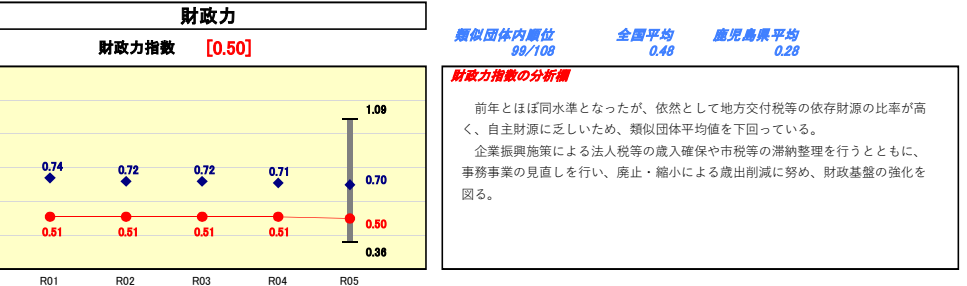
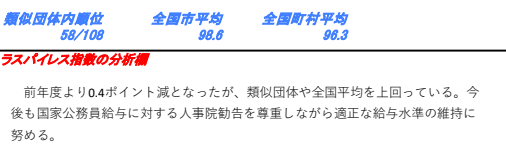
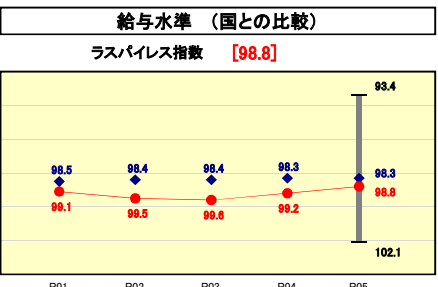
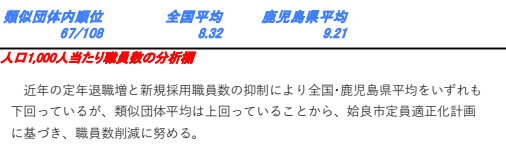
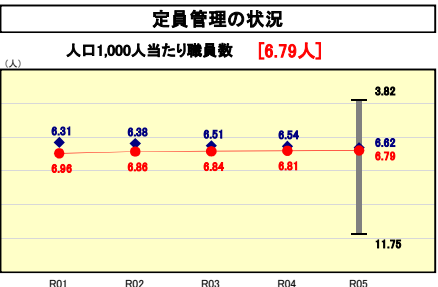
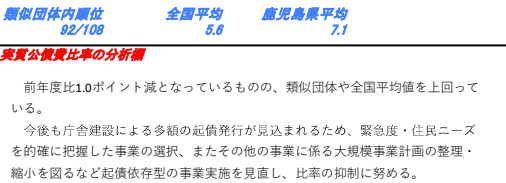
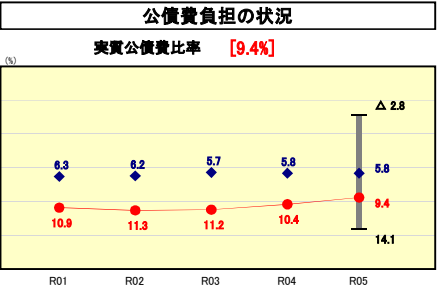
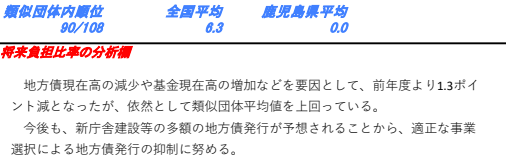
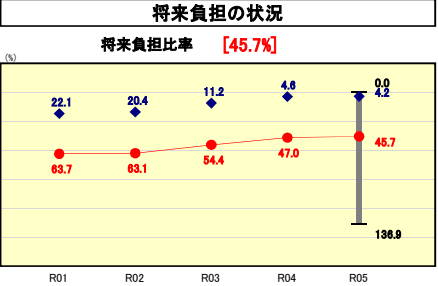
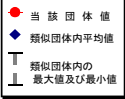
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

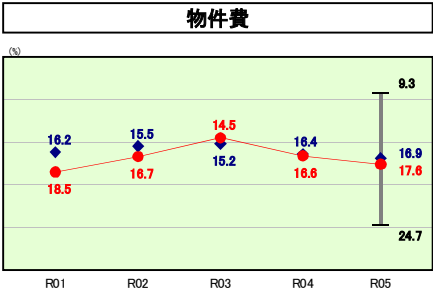
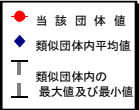
人	78,218	人(R6.1.1現在)	-	%
うち日本人	77,643	人(R6.1.1現在)	-	%
面積	231.25	km ²	9.4	%
歳入総額	40,116,291	千円	45.7	%
歳出総額	38,698,884	千円		
実質収支	1,240,070	千円		
標準財政規模	18,396,650	千円		
地方債現在高	32,146,642	千円		

実質赤字比率	-	%
連結実質赤字比率	-	%
実質公債費比率	9.4	%
将来負担比率	45.7	%
市町村類型(年度毎)	R01 II-3 R02 II-3 R03 II-3 R04 II-3 R05 II-3	

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

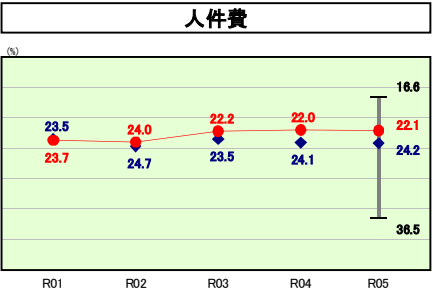


類似団体内順位 57/108 全国平均 15.2 鹿児島県平均 12.9

物件費の分析欄

老朽化に伴う公共施設の維持管理に要する経費が増大していることから、前年度に比べ1.0ポイント増加し、類似団体や県平均より上回っている状況である。

今後は、経費の削減及び公共施設等総合管理計画に基づいた老朽化した施設の集約化・複合化や長寿命化を行うことにより、経常費用の削減に努める。

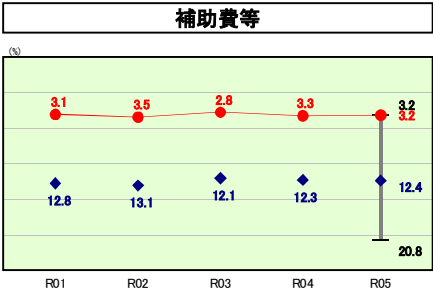


類似団体内順位 24/108 全国平均 25.5 鹿児島県平均 24.4

人件費の分析欄

前年度より0.1ポイント増加しているものの、類似団体、全国平均よりは下回っている。

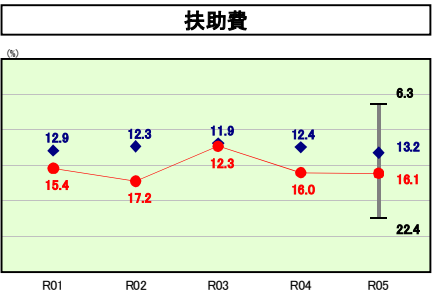
今後も始良市定員適正化計画に基づき、定員減を行い、人件費の抑制に努める。



類似団体内順位 1/108 全国平均 10.7 鹿児島県平均 7.8

補助費等の分析欄

前年度に比べ0.1ポイント減となっており、以前から補助金の整理等を行ってきた結果、類似団体や全国平均を大きく下回っている。引き続き行政改革大綱等に基づき、補助金の見直しや廃止等を含め、市財政に依存することが無い組織づくりを促し、抑制に努める。

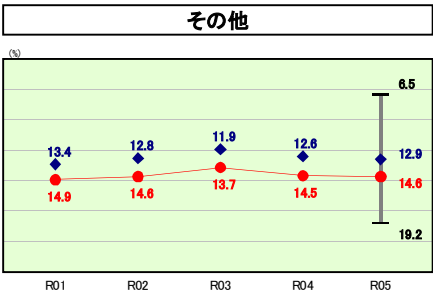


類似団体内順位 93/108 全国平均 13.2 鹿児島県平均 13.7

扶助費の分析欄

前年度より0.1ポイント増となり、全国平均、鹿児島県平均及び類似団体平均との開きが大きい状況である。

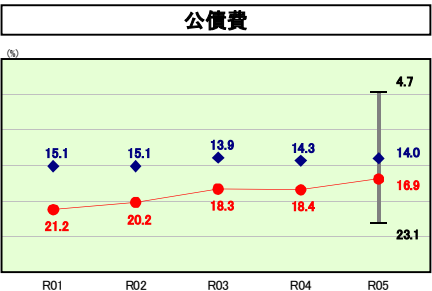
近年人口増加の影響もあり、地方税については微増ではあるものの、それ以上に扶助費の増加が大きく、扶助費の適正支給による抑制に努める。



類似団体内順位 91/108 全国平均 12.6 鹿児島県平均 13.1

その他の分析欄

前年度に比べ0.1ポイント増加し、類似団体や全国平均と比べ上回っている。今後は特別会計の事業見直しや節減を推進し、他会計への繰出金の抑制に努める。

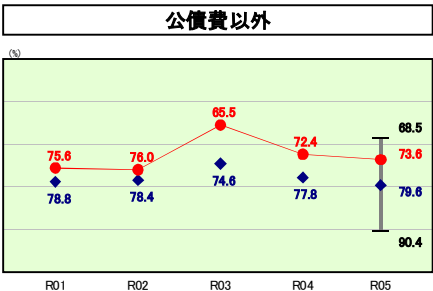


類似団体内順位 89/108 全国平均 15.9 鹿児島県平均 18.8

公債費の分析欄

前年度より1.5ポイント減となったものの、依然として高い水準が続いているおり、類似団体平均値との開きは大きい。

類似団体平均値との開きが大きい要因の一つに、市町村合併及び近年の人口増加に伴い、大規模事業が増加したことが挙げられる。今後は、新庁舎建設等の多額の地方債発行が予想されることから、適正な事業選択による地方債発行の抑制に努める。



類似団体内順位 10/108 全国平均 77.2 鹿児島県平均 71.9

公債費以外の分析欄

類似団体平均値を下回っているが、近年の社会保障費の増加及び人口増加による扶助費に係る経費の増大が予想されることから、審査・給付の適正化に努める。

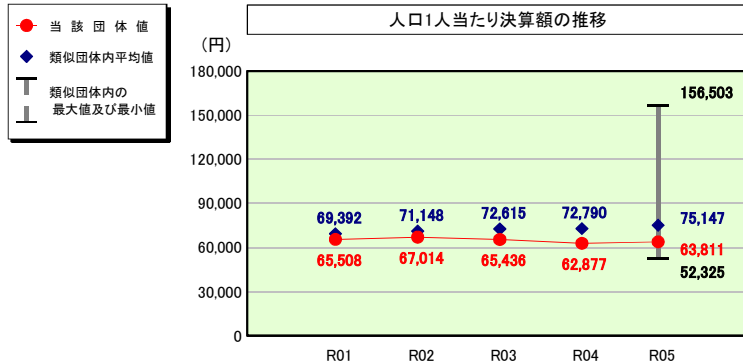
また、物件費についても公共施設の維持管理に多額の経費を要していることから民間委託や指定管理への検討を進めて行くことで、コスト削減に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

鹿児島県始良市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

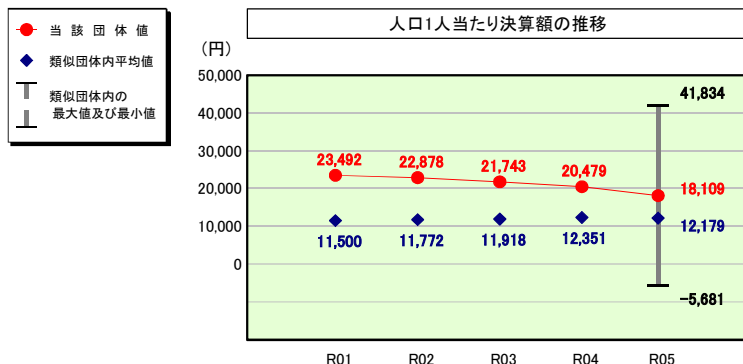
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,518,497	57,768	66,486	▲ 13.1
一部事務組合負担金(補助費等)	12,453	159	6,147	▲ 97.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,573	20	1,219	▲ 98.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	9	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	154,687	1,978	2,955	▲ 33.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	519,994	6,648	1,434	363.6
▲退職金	▲ 216,065	▲ 2,762	▲ 3,102	▲ 11.0
合計	4,991,139	63,811	75,147	▲ 15.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.79	6.62	0.17
ラスパイレズ指数	98.8	98.3	0.5

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

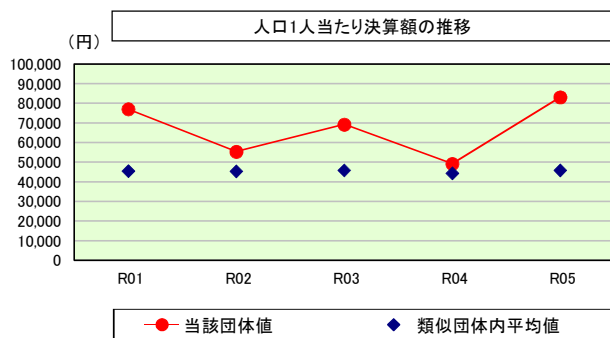
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,286,537	42,018	34,847	20.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	5	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	56,046	717	8,260	▲ 91.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,689	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	59,193	757	748	1.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	824	11	1	1,000.0
▲特定財源の額	▲ 324,093	▲ 4,143	▲ 5,762	▲ 28.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,662,041	▲ 21,249	▲ 27,609	▲ 23.0
合計	1,416,466	18,109	12,179	48.7

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

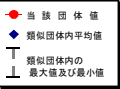
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R01	5,965,751	77,047	26.7	45,588	8.7	18.0
うち単独分	3,682,224	47,556	1.7	24,150	3.4	1.7
R02	4,307,984	55,436	▲ 28.0	45,483	▲ 0.2	▲ 27.8
うち単独分	2,430,311	31,274	▲ 34.2	24,241	0.4	▲ 34.6
R03	5,393,822	69,237	24.9	45,945	1.0	23.9
うち単独分	4,291,368	55,085	76.1	25,180	3.9	72.2
R04	3,846,185	49,261	▲ 28.9	44,475	▲ 3.2	▲ 25.7
うち単独分	2,556,292	32,741	▲ 40.6	24,780	▲ 1.6	▲ 39.0
R05	6,503,433	83,145	68.8	45,982	3.4	65.4
うち単独分	4,450,252	56,895	73.8	25,583	3.2	70.6
過去5年間平均	5,203,435	66,825	12.7	45,495	1.9	10.8
うち単独分	3,482,089	44,710	15.4	24,787	1.9	13.5

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

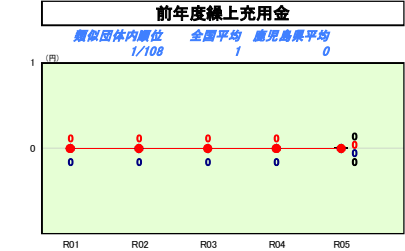
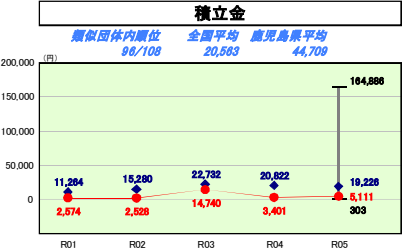
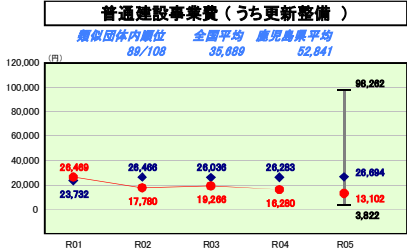
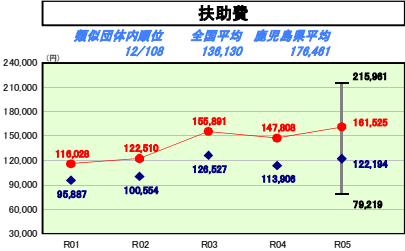
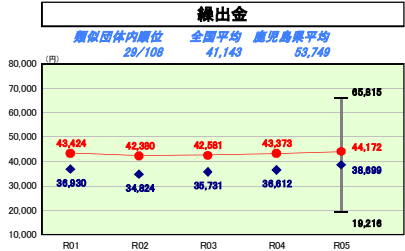
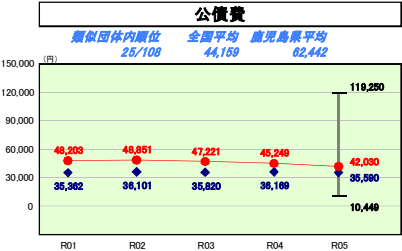
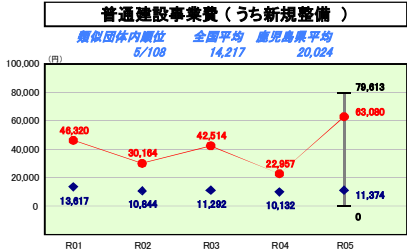
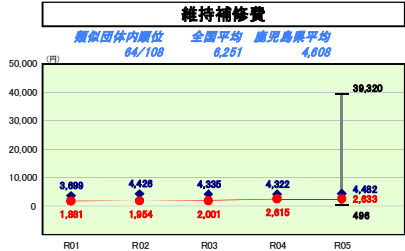
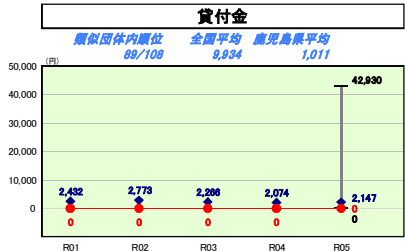
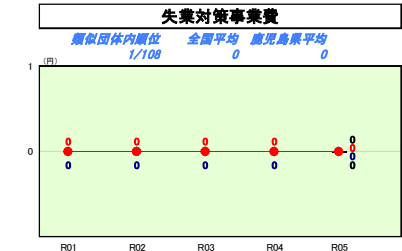
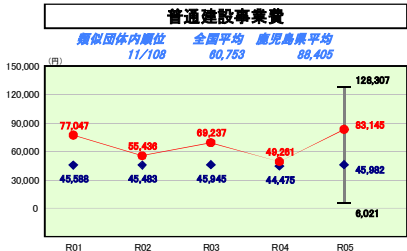
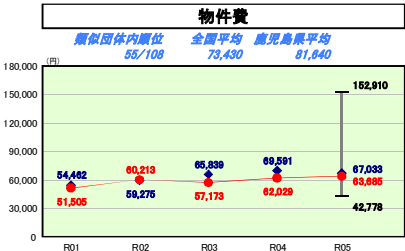
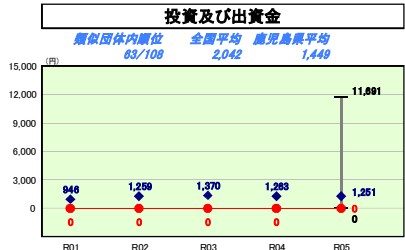
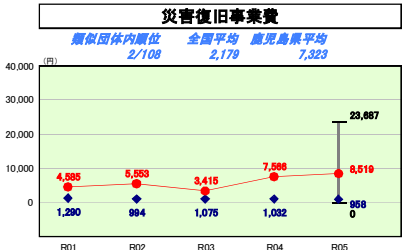
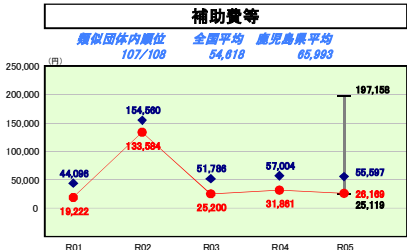
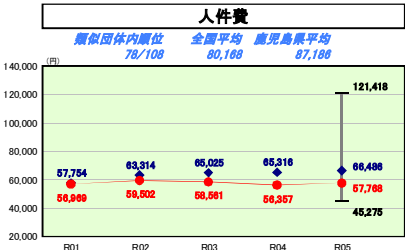
令和5年度

鹿児島県始良市

人	口	78,218	人(第1.1順位)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本	人	77,643	人(第1.1順位)	通	算	実	質	赤	字	比	%				
		231.25	km ²	実	質	公	債	費	比	率	9.4	%			
面積		40,116,291	千円	実	質	負	担	比	率	45.7	%				
歳入	総	38,698,884	千円	市	町	村	毎	年	型	R01	Ⅱ-3	R02	Ⅱ-3	R03	Ⅱ-3
歳出	総	1,240,070	千円	(年	度	毎			R04	Ⅱ-3	R05	Ⅱ-3		
実質収支	財	18,396,650	千円												
標準地方債	現	32,146,642	千円												
	高														



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析圖

令和5年度の歳出決算総額は住民一人当たり494,757円となっている。主な構成項目である人件費については住民一人当たり57,768円となっており、前年度より微増となったものの、同水準で推移している。
また、扶助費については住民一人当たり161,525円となっており、類似団体平均値を大きく上回っている。これは、障害者自立支援給付事業、障害児通所支援事業、私立保育所等給付事業、物価高騰対応重点支援交付金を活用した低所得者支援が大きな要因となっている等。
*当部課事業費(新規整備)については住民一人当たり63,080円となっており、前年度より住民一人当たり40,123円の増となり類似団体平均値を大きく上回った。これは、新庁舎建設事業や子育て支援拠点施設整備事業の実施が大きな要因となっている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

鹿児島県始良市

人口	78,218人(第1.1順位)	実質赤字比率	-%
うち日本人	77,643人(第1.1順位)	通算実質赤字比率	-%
面積	231.25km ²	実質公債費比率	9.4%
歳入総額	40,116,291千円	実質負担比率	45.7%
歳出総額	38,698,884千円	市町村類型	R01Ⅱ-3 R02Ⅱ-3 R03Ⅱ-3
実質収支	1,240,070千円	(年度毎)	R04Ⅱ-3 R05Ⅱ-3
標準財政規模	18,396,650千円		
地方債現在高	32,146,642千円		

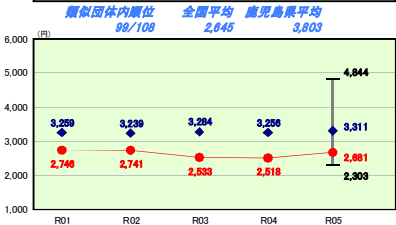


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

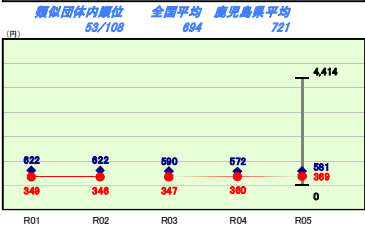
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

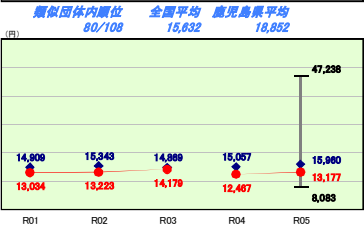
議会費



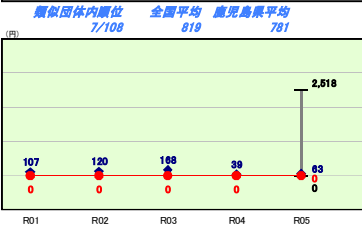
労働費



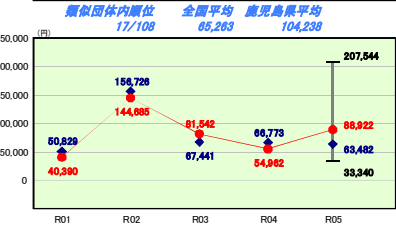
消防費



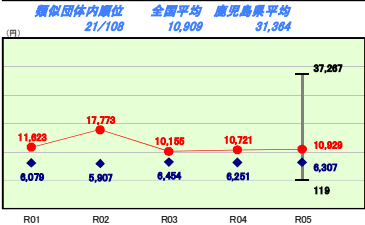
諸支出金



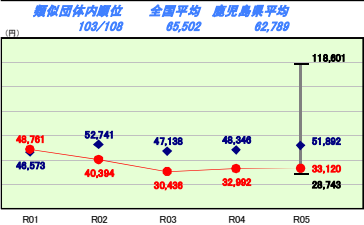
総務費



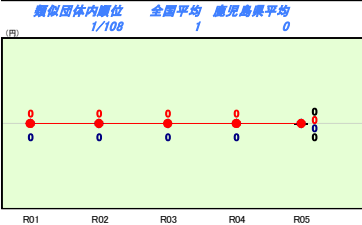
農林水産業費



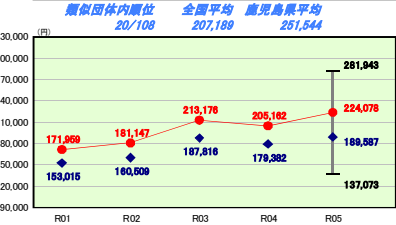
教育費



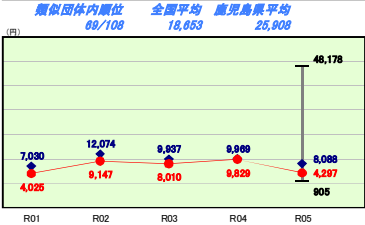
前年度繰上充用金



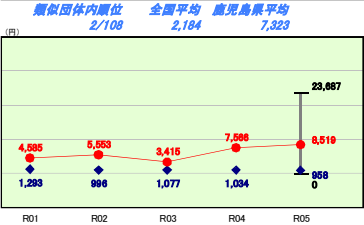
民生費



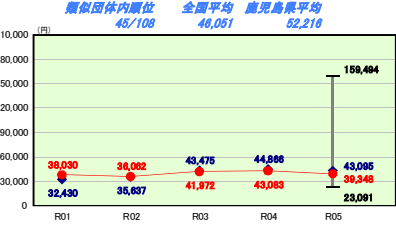
商工費



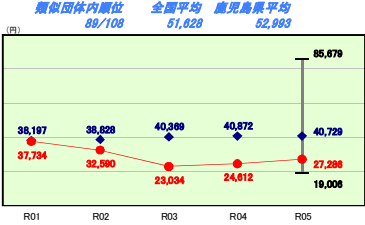
災害復旧費



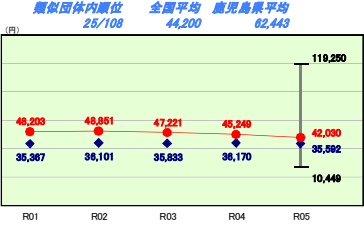
衛生費



土木費



公債費



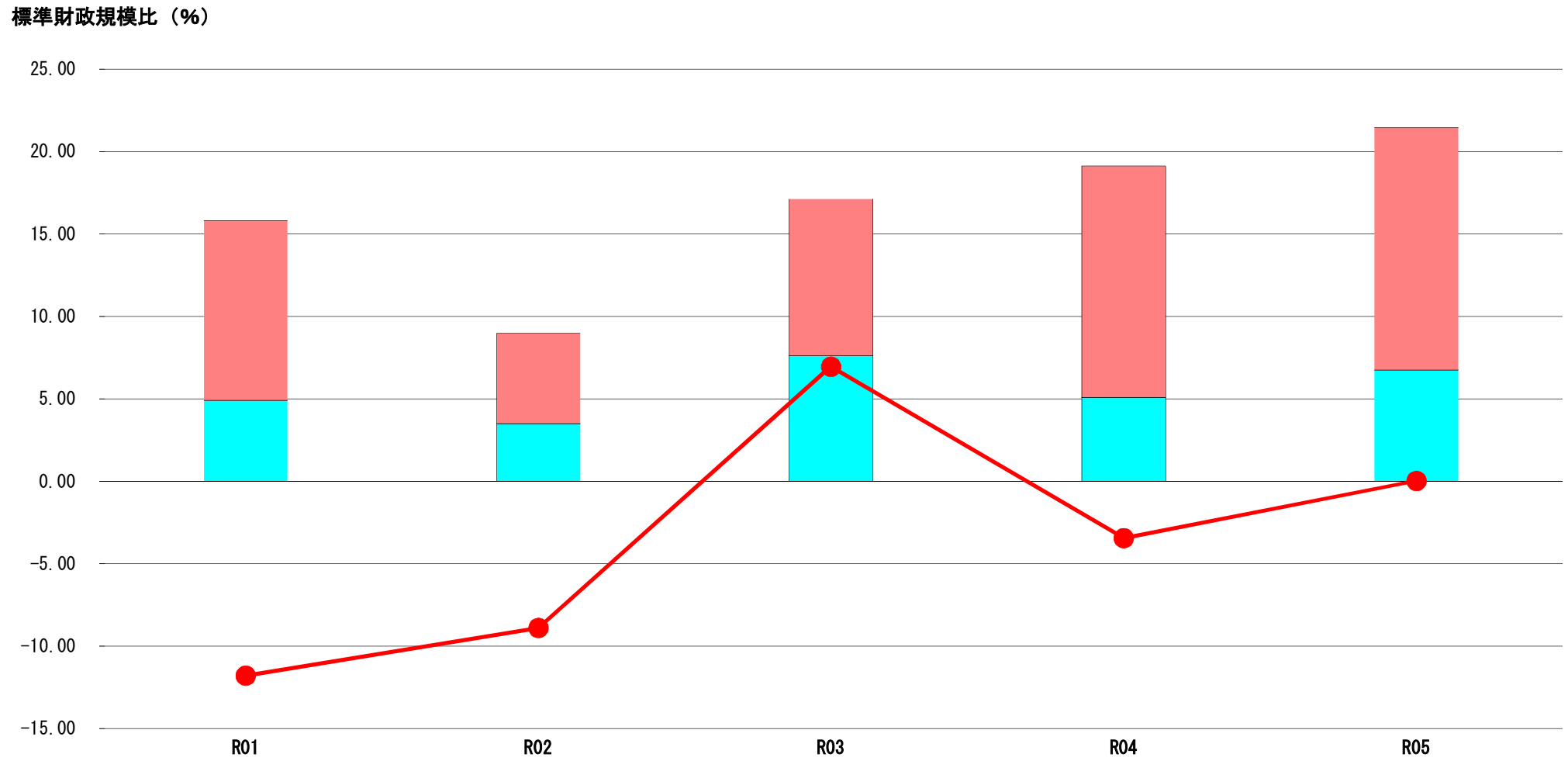
目的別歳出の分析圖

総務費は、住民一人当たり88,922円となっており、昨年度より33,960円増加しているが、これは複合新庁舎建設にかかる事業費が昨年度より増加したことによるものである。
民生費は、住民一人当たり224,078円となっており、昨年度より18,916円増加しているが、これは障害者自立支援給付事業、障害児通所支援事業、私立保育所等給付事業、子育て支援拠点施設整備事業、物価高騰対応重点支援交付金を活用した低所得者支援等によるものである。
衛生費は、住民一人当たり39,348円となっており、昨年度より3,735円減少しているが、これは新型コロナウイルスワクチン接種事業が減額となったことによるものである。
商工費は、住民一人当たり4,297円となっており、昨年度より5,532円減少しているが、これは令和4年度に地域消費喚起プレミアム商品券事業、物価高騰等対策事業者支援事業重富地区おとなし整備事業等、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業をおこなったため、減額となった。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

鹿児島県始良市



標準財政規模比（％）		年度				
区分		R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高		10.91	5.48	9.50	14.02	14.71
実質収支額		4.91	3.49	7.62	5.10	6.74
実質単年度収支		▲ 11.81	▲ 8.90	6.96	▲ 3.44	0.03

分析欄

財政調整基金残高は、歳入に見合った歳出の徹底した見直しによる削減等により、歳計剰余金処分により積立てることができ、前年度より増加している。実質収支額は、執行段階における抑制に努めたことから増となった。

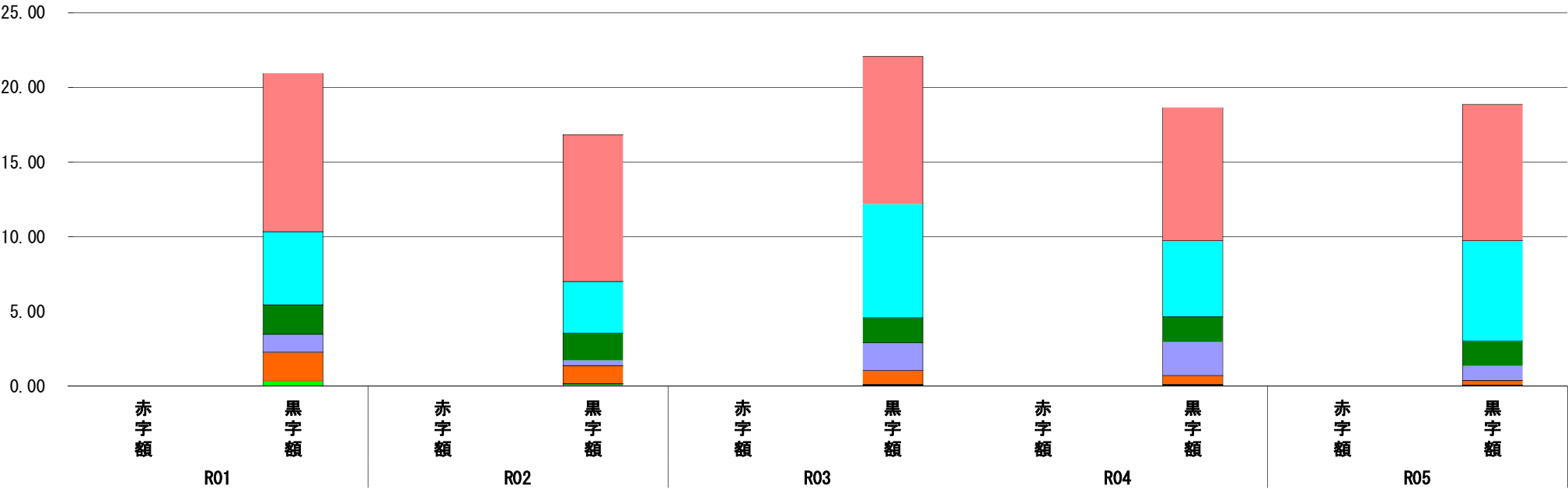
本市は普通交付税の段階的縮減等により厳しい財政状況ではあるが、事務・事業の見直しなど歳出削減を行い、健全な財政運営に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

標準財政規模比（％）

令和5年度

鹿児島県始良市



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
会計						
<div></div>	始良市水道事業会計	10.62	9.84	9.88	8.93	9.14
<div></div>	一般会計	4.90	3.49	7.62	5.09	6.74
<div></div>	始良市下水道事業会計	1.98	1.81	1.67	1.70	1.64
<div></div>	始良市介護保険特別会計保険事業勘定	1.20	0.34	1.87	2.26	0.98
<div></div>	始良市国民健康保険特別会計事業勘定	1.90	1.20	0.93	0.59	0.31
<div></div>	始良市介護保険特別会計介護サービス事業勘定	0.01	0.02	0.03	0.03	0.04
<div></div>	始良市国民健康保険特別会計施設勘定	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02
<div></div>	始良市後期高齢者医療特別会計	0.32	0.12	0.04	0.05	0.00
<div></div>	その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
<div></div>	その他会計（黒字）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

全会計において黒字であるが、一般会計から特別会計への繰出金も年々増加傾向にあることから、一般会計の負担が増加している。

また、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等においては、高齢化の進展や医療技術の高度化等に伴う医療費や給付費の増加が見込まれる。

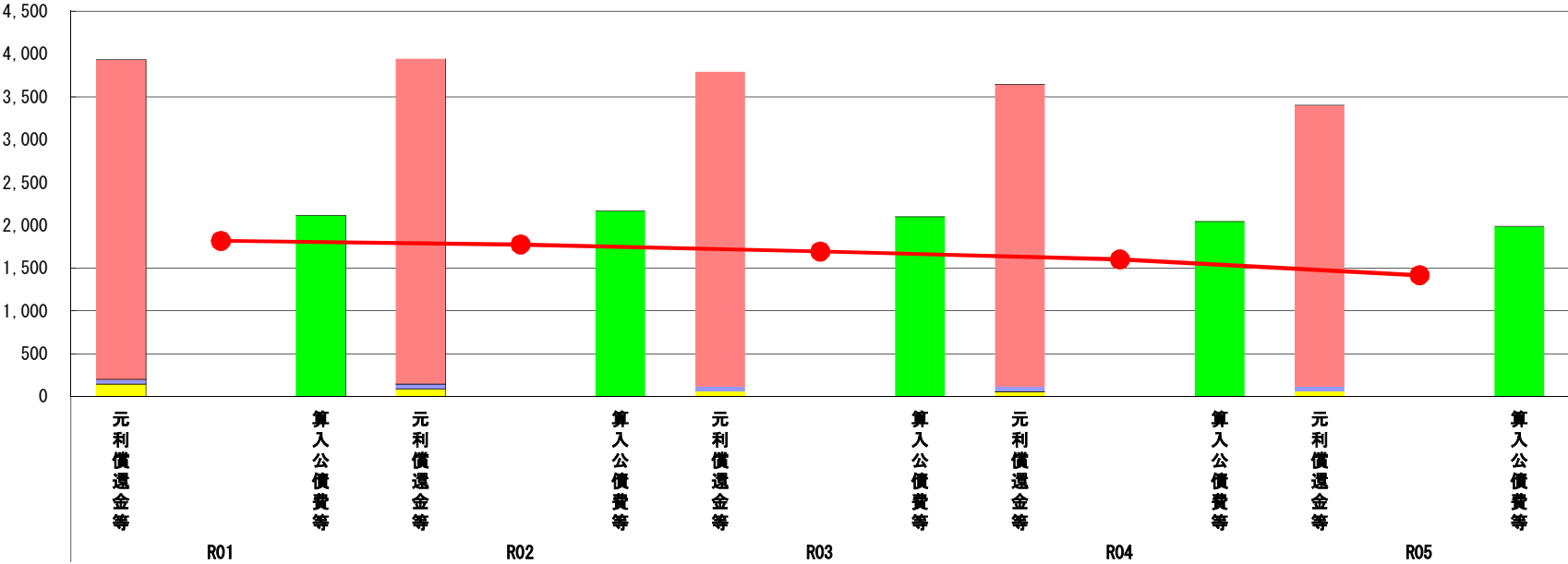
一般会計においても普通交付税の段階的縮減等により、財源確保の状況も厳しいことから今後も経費削減・抑制に努めるとともに自主財源の歳入確保強化に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

鹿児島県始良市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,732	3,796	3,678	3,533	3,287
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		54	56	52	55	56
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		147	92	61	59	59
	一時借入金の利子		0	0	1	0	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,115	2,166	2,098	2,047	1,987
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,818	1,778	1,694	1,600	1,416

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

分析欄
普通建設事業の選択による地方債発行抑制に努めたことから、前年度より元利償還金が減額となっている。 今後も、地方債発行においては交付税措置のある地方債を有効活用し、財政健全化に努める。

(参考)

(百万円)

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

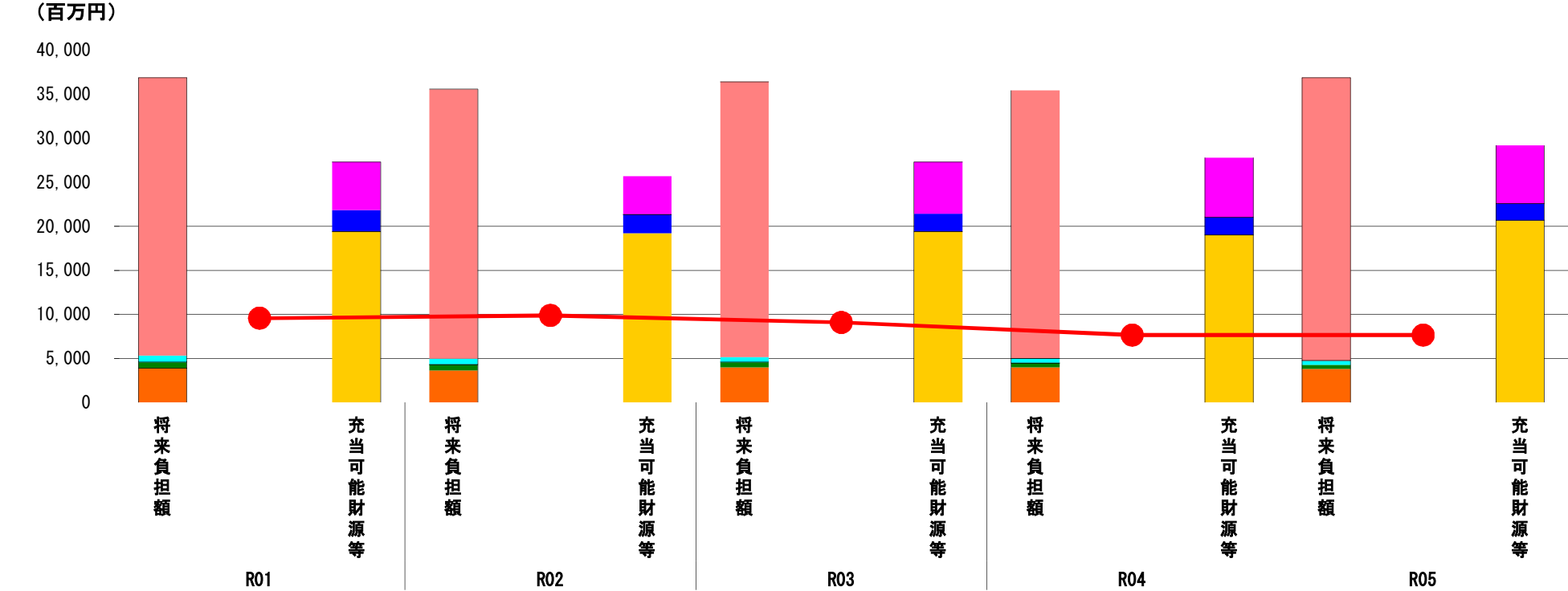
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄
減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てたものはない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

鹿児島県始良市



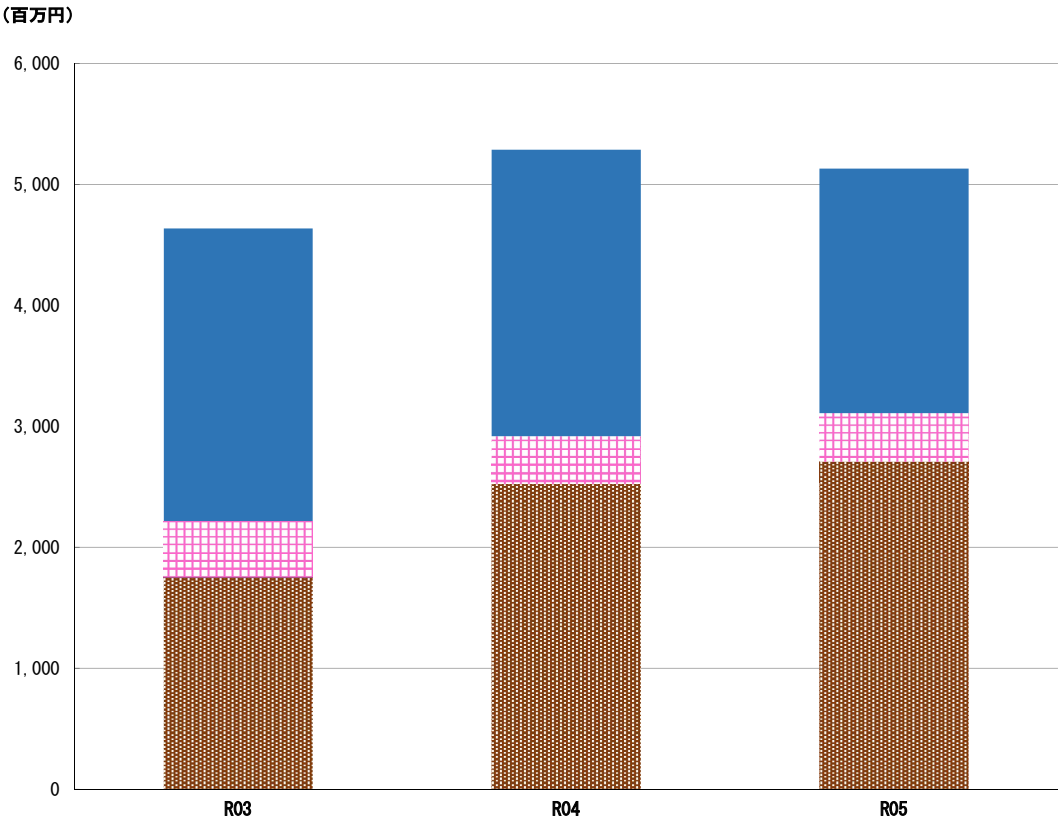
分子の構造		年度				
		R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高	31,599	30,639	31,271	30,456	32,147
	債務負担行為に基づく支出予定額	734	641	580	521	462
	公営企業債等繰入見込額	700	690	574	511	483
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	3,860	3,612	3,989	3,962	3,788
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	5,464	4,369	5,881	6,760	6,625
	充当可能特定歳入	2,420	2,138	1,993	2,018	1,906
	基準財政需要額算入見込額	19,442	19,207	19,448	19,021	20,691
(A) - (B)		9,567	9,869	9,093	7,650	7,658

分析欄

充当可能財源等が増えたことにより、将来負担比率の分子が微増し、将来負担比率は前年度比で1.3ポイント改善している。

新庁舎建設工事や子育て支援拠点施設整備事業等の大規模な事業の事業実施に伴い地方債の現在高は増加した。翌年度以降も複合新庁舎建設事業は継続するとともに、後年度も多額に地方債発行が必要となる大規模な普通建設事業が計画されていることから、今後も地方債の発行を抑制しながら、健全な財政運営に努める。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



年度		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		1,752	2,523	2,705
減債基金		465	395	404
その他特定目的基金		2,419	2,368	2,023
地域福祉基金		608	608	608
公共施設等総合管理基金		678	659	527
庁舎建設基金		547	490	306
ふるさと応援基金		167	208	221
森林環境譲与税基金		63	89	84
基金残高合計		4,636	5,286	5,131

令和5年度	鹿児島県始良市
<div>基金全体</div> <div>(増減理由) 人口増加に伴う社会保障費の増加、児童・生徒の増加に伴う教育環境の整備、既存施設の老朽化に伴う改修費用など歳出額が増加しているものの、財政調整基金残高は、歳入に見合った歳出の徹底した見直しによる削減等により、前年度より増加している。</div> <div>(今後の方針) 新庁舎建設事業がピークを迎え、さらに厳しさを増すことから、さらなる事業の廃止・縮小を検討・実施し、また、ふるさと納税やネーミングライツ等の財源確保策に努める。</div>	
<div>財政調整基金</div> <div>(増減理由) 歳入に見合った歳出の徹底した見直しによる削減等により、前年度より増加</div> <div>(今後の方針) 財源不足分を基金に頼らない予算編成に取り組み、大規模災害に対応できるように、決算状況を踏まえて積み増しを行っていく。</div>	
<div>減債基金</div> <div>(増減理由) 地方交付税にて臨時財政対策償還基金費が追加され、79百万円措置されたことにより、前年度より増加している。</div> <div>(今後の方針) 庁舎建設等の大規模な普通建設事業の実施が続くことにより償還額が増加することから、地方債の発行を抑制しながら、健全な財政運営に努める。</div>	
<div>その他特定目的基金</div> <div>(基金の使途) ・地域福祉基金 地域の特性に応じた高齢者の保健及び福祉施策を推進するための基金 ・公共施設等総合管理基金 公共施設の整備を図るための基金 ・庁舎建設基金 市庁舎の建設に要する経費の財源に充てるための基金 ・ふるさと応援基金 ふるさと始良応援寄附金を指定された使途に沿って将来に向けたまちづくりに必要な施策を推進するため財源とする基金 ・森林環境譲与税基金 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業を実施するための基金</div> <div>(増減理由) 過疎地域持続的発展基金は、過疎地域の発展に伴う取り崩しにより約34百万円減少した。 庁舎建設基金については、建設工事等のために活用し、約184百万円減少した。 公共施設等総合管理基金は、老朽化した施設の改修等に活用し約132百万円減少した。</div> <div>(今後の方針) 庁舎建設基金については、令和7年度まで新庁舎建設を予定しており、今後も庁舎建設工事等のために活用していく。</div>	